

卯辰年より亥の年まで
福田上夫

金田妻の月には、
ては日すぶきしのであり。金巻の道法
の暇を指するめつるが、
再上梓としてし、くれししのである。ちほ
（）萌えあつる草が、
（）の節には、そんな力があるを感じた。

（月）